

例会報告



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 遠藤 隆浩
- 幹事 垣内 秀文
- 会報委員長 長瀬 達三

第2594例会 令和元年10月4日
お祝い・職業奉仕委員会担当例会

＜会長の時間＞

今日は職業奉仕委員会の担当例会です。講師は会員の挟土貞吉さんです。挟土さんには先だつてのさるぼぼサロンでのCLP集会の翌日、私と垣内さんに対して大変熱のこもった励ましのFAXをいただきました。挟土さんの仕事と人生にたいする思いをおもいきり語っていただきたいです。



短いですが時間もおしていますので今日は会長の時間を終わります。

＜幹事報告＞

◎RI日本事務局より

- ・10月のロータリーレートについて 1ドル108円 (前月 106円)
- ・地域社会の経済発展月間 リソースのご案内

◎ガバナー、地区米山奨学部門委員長より

- ・次期米山奨学生世話クラブ受入説明会のご案内
- 日 時 11月3日(日) 午後1:00~3:30
- 場 所 安保ホール101号室 JR名古屋駅徒歩3分
- 出席要請者 クラブ代表者およびカウンセラー候補者

＜受贈誌＞

不破RC(会報、活動計画書)、社団法人高山市文化協会(広報高山の文化No212、高山メセナメイト会報No68)、

＜出席報告＞

	出席者数	会員数	出席率
本日	32名	41名	78.05%

＜本日のプログラム＞ お祝い

◎会員誕生日

(写真左より)

- 挟土 貞吉 10. 1
- 伊藤 松寿 10. 1
- 高井 道子 10. 11 (当日欠席)
- 長瀬 達三 10. 25



◎配偶者誕生日 (当日、ご自宅へ花束をお届け)

- 平 義孝 八重子 さん 10. 21
- 井辺 一章 和子 さん 10. 3
- 内田 幸洋 博子 さん 10. 31
- 田中 正躬 妙子 さん 10. 28
- 高井 道子 一郎 さん 10. 18

◎結婚記念日 (写真左より)



(当日欠席)
蒲 優祐
10. 10

内田 幸洋、門前庄次郎、田近 毅、古橋 直彦
10. 25、10. 11、10. 21、10. 18

◎出席表彰



阪下 六代 30年 萱垣 敬慈 3年

◎在籍周年記念表彰

なし

◎3ヶ月表彰

- ・内田 幸洋 ・遠藤 隆浩 ・斎藤 章 ・阪下 六代
- ・長瀬 達三 ・平 義孝 ・門前庄次郎

職業奉仕委員会

委員長 大村 貴之

本日は、まさに職業奉仕を体現されて来られた挟土 貞吉さんに講話をお願いしております。

挟土さんは平成30年春の叙勲で、永年に渡る保護司活動の功勞により瑞宝双光章を受章されるなど、西クラブを代表するロータリアンの一人です。どうぞよろしくお願ひ致します。



例会報告



「念があれば花開く」ロータリーと我が左官人生 挟士 貞吉

私は、RCは雲の上の団体と思っていましたが38年前、時の17代会長 岡田貴さん、溝際一男さん（駿河屋）、加えて当時設計業界トップであった西久二さんが我家におみえになり、西クラブに会いと言われ入会しました。

ロータリーとは、己を律し“天職を高め、職業を通して社会に奉仕”する団体ですが、私は38年もいながら何をしていたのだろう、と恥ずかしい思いをしています。我がクラブには濃飛分区“IM”で講演された飛騨産業社長、岡田賛三さんをはじめ“職業を通して社会に奉仕”している立派なロータリアンが沢山います。また、ガバナー候補者も沢山います。そんな中、私ごとき何も出来ないこんな男もいるのが現実のロータリーであり娑婆だと思えます。私はそれでいいのだと思っています。

テレビドラマ、どてらい男のモデルになった山善社長 山本猛夫氏は、「世の中全て3、4、3だ。有能な人間3、普通の人間4、駄目な人間3、それをいかに調和して上手に使いこなす、やる気をもたせるかが社長（トップ）の仕事である。籠を作る人、担ぐ人、乗る人、どれも皆大切で、各自努力して上を目指しトップになるのが資本主義での競争社会であり、今の娑婆です。」と言っていました。人それぞれ寛容の精神で切磋琢磨し、“天職を高める”ために努力をすれば立派なロータリー会員であり、それでよし、と私は自分に言い聞かせ、毎週金曜日昼飯を食べに出てきています。

私は中学2年生の時、左官になる事を心に決めていました。生まれた年は太平洋戦争が勃発した年であり、時代背景からご承知のように戦後食糧難の貧しい生活で、進学する生徒はほんの一部、頭の良い子が裕福な家庭の子に限られていました。

私は彼らが羨ましく子供ながらに反発し、進学する一部の生徒と進路について論争した事を今でも覚えています。彼らはこれからの社会は“学歴”だと言い、私は就職組を代表して、いや“実力で勝負だ”と言い張り喧嘩をしました。

その原因は、先生が進学組を優先して勉強を教えていたからです。私達就職組は、社会、歴史、英語、音楽の授業時間は外で遊んで良いと言われ、まともに授業を受けませんでした。当時私達はそれを良いことに、運動場に出て野球やサッカーをして遊んでいましたが、故に、今新聞に出る高校入試の問題一つも解くことができません。この学力の無い恥しさ、情けなさに腹が立ち、実社会に出てからは彼らに負けまいという変なライバル意識が幸いし、自然と“天職を高めて”きたように思います。

当時の進路決めは、戦後の事であり親から「手に職を就ければ食いはぐれが無い」と言われ集団就職した人、また親方について職人の道に就いた人などに分かれました。

私の師匠は神明町の「朝岩一雄」と言う腕の良い、“職人気質”の厳しい親父でした。その後、私はこの親父さんの一人娘と結婚することで義父となり、一緒に会社の仕事をするようになりました。

この親父の下で、兄 秀吉と共に仕事を覚え、また私は東京での左官技能講習等にも積極的に参加し、昭和47年、左官一級実技国家試験で県下1位となりました。全国左官技能競技大会に東海ブロック代表で出場しましたが、残念ながら4位に終わり、再度出場を夢見て頑張っていました。ある事情で出場を諦めた経緯があります。ならば叶わなかった自分の夢を個人経営での一人親方である“徒弟制度”をやめ、時代を見据えた“訓練校”にして人を採用し、会社組織にして叶えようと決意し、株式会社狹土組に組織変更して企業家、事業主として再出発しました。

職人気質な兄 秀吉が現場を受け持ち、学力も実力も無い私 貞吉が経営者としての道、営業にまわり職人を育てることにし、北小学校前に事務所、社員寮を建て、建設業の県知事許可190号をいただきました。

その際、職業訓練校を申請する為に必要な国家資格（左官、タイル、ブロック一級技能士、指導員免許、施工管理技士）を取り、訓練校の認可もいただき求人活動をして立派な生徒が入校してくれましたが、残念なことにその後県庁より毎年10人以上の訓練生を継続して雇わなければいけないとの指導があり、この土地柄無理なことと判断し返上いたしました。また北小学校前駐車場がなく手狭となり、昭和55年石浦町に会社を移転し建てたのが現在の館です。今日までに約100人近く職人を育ててきました。その中には左官1、2級国家試験で優秀な成績を収めた県知事表彰受賞者、技能オリンピック予選に出場した子もいます。今年も2人の生徒が厳しい指導の下練習し、良い成績で合格しました。

甥っ子の秀平も、全国左官技能競技大会に2回出場しました。その経験を活かし現在の地位を作り活躍しています。彼は私の経営方針、感覚と違い、職人技を通り越して“芸術家的センス”が素晴らしい、それを活かすため我が道を行くということで、我社の腕利き職人を連れて独立し、彼なりのやり方で現在ご存知のように頑張っています。

我が人生を今振り返ってみますと、日本の高度経済成長期に重なりバブルで建設業は忙しく左官仕事が沢山あり、“一意専心”この道一筋で頑張ってきました。裸一貫で始めた我が人生、波乱万丈の会社経営でした。“左官さ”になった当初、昭和30年代の仕事現場は上室村平湯、福地一重ヶ根方面温泉地と、生れ在所の丹生川村で住宅の泥壁塗り、また生活改善での釜戸、風呂、台所、トイレ等のタイル仕事が忙しく、毎日お天道様と一緒に夜明けと共に起き、夕暮れ暗くなるまで年中無休で働き通しでした。

最初の出張仕事は、60年前伊勢湾台風で被災した名古屋港近くの南陽町でした。泥だらけの被災地で悪臭がひどく大変な場所での仕事でした。その後も毎年冬場は決まって岐阜名古屋に出ての出稼ぎでした。荷物運びの車はダイハツの三輪ミゼット車や、マツダのオート三輪、棒ハンドルの車に乗り、朝出発して宮崎の雪道を越えると昼近くなり、41号砂利道 岐阜に着くのが夕方でした。現場は紮績工場など飯場生活での自炊であり、私はまだ暗いうちに起き、自分が現地で作った釜戸に火を入れ飯を炊き味噌汁、おかずを作り、時にはソースだけをご飯にかき食べたものです。飯場内には大勢の職人が寝泊りし、酒を飲み喧嘩はつきものでした。左官浪花組は半分やぐで、とび職や型枠大工と仲が悪く、田舎者のおとなしい飛騨人は喧嘩を見るのが本当に怖かったです。

昭和50年頃からは、高山が主な仕事場となり、良きライバル山下組と張り合い、鉄筋工事の大型物件を請け負うようになりました。高山短大、高山文化会館、高山日赤病院、グリーンホテル、ひだホテル、高山市役所、各所学校工事等の壁を仕上げてきました。当時の左官は3K「汚い、きつい、危険」職種と言われる中、求人活動を続け、金の卵から落ちこぼれ生徒も時に受け入れ職人に育て企業の拡大を図りました。

その後、大林組、竹中工務店、清水建設、大成建設、鹿島建設といったスーパゼネコンが請負う現場、真光本山、真光美術館、高山

例会報告

美術館、各所旅館、ホテル、世界生活文化センター、まつりの森工事、また県外大手会社である間組、銭高組、飛鳥建設、熊谷組、フジタ等とも直接営業し工事を請け負ったバブル最盛期には、年間売り上げが手間主体で約8億円にも達し、県下オンリーワンとなり国税局が調査に入りました。

無事通り、同業他社に比べガラス張りの良き会社と褒め言葉をいただき、高山税務署所長表彰があり企業として認知され税金も多く払い“職業を通して社会奉仕”出来た良き時代で、ロータリーバッジに輝きがありました。正に目が回る忙しさで、一時期は60人の完全雇用職人を抱えそれでも足らず、九州、北海道、全国から外注を呼び、我社の寮で食べさせ炊事責任者の女房は大変でした。そのお陰で工期は遅れることなく引渡し、各スーパーゼネコンから信頼され、外部（岐阜、名古屋の左官業者）をこの高山に入れることなく次々仕事をもらえた事は、我ながら今にして良くやったと“有森裕子”でありませんが“自分で自分を褒めてあげたい”気持ちで一杯でした。

当時、我が社が竹中工務店全国QCサークルにおいて“真光美術館”で金賞をいただき、夢に見た日本一の左官業者に近付けたかと思いきや、その後、先に話したとき（秀平の独立）でまさかの事態となり一から出直し、いやゼロからの挾土組の試練の船出となり、一時はどうなるかと思う中でロータリーに身を置き、無我夢中で会社を守ってきました。試練は重なり、当時私はこの西クラブの会長エレクトでしたが、ある高山の業者から、この事態に来年ロータリーの会長をやるのであるなら契約している大型工事を渡さない、と親心で言われ、夜も寝られず悩みました。出した結論は“会社第一”であり、思い切ってロータリーを辞めようと思ひし辞表を出しました。しかしその時クラブメンバーで私に理解を示し事情のよく解った2人（脇本さん、中林さん）が業者と掛け合ってくれ、無事仕事を請け負うことができ、またクラブ会長も辞めずに済み事なきを得、ロータリーの“好意と友情の深さ”ありがたさを実感しました。なんとその年度にR I 会長賞と地区広報賞まで受賞できる伝達があり、私は二重三重の喜びでした。会員皆さんの協力のお陰であった事は言うまでもありませんが、特に立派な幹事、内田幸洋さんの力と広報委員長伊藤松寿さんが、年間の西クラブの活動、行事を立派にファイルに取りまとめ地区へ提出された賜物であります。また、伊藤さんにはあらゆる面での助言とご指導をいただき、ありがとうございました。私にとって波乱万丈“会社経営死ぬか生きるか逆境”にあつて“R I 会長賞”に挑戦し“絶対諦めない事の大切さ”を身を持って知り、これぞロータリーの醍醐味であり人生道場だと思いました。受賞できた事、感謝以外言葉はありません。なお、あの時新会員であった門前さんが昨年会長となりR I 会長賞に挑戦され受賞が決まったと今聞き、クラブの誇りであり嬉しく思っています。

我がクラブがあつたR I 会長賞をいただいた2年後、当時の伊達パスタガバナーより私に地区青少年委員に出て来いと言うお誘いがありました。そんな器で無く恐縮し平身低頭お断りしましたのも懐かしい思い出です。

仕事の事からロータリーのことに話がそれてしまいましたが、会社経営はその後コンクリートから人へというキャッチフレーズで政権が変わり、バブル崩壊で建設業界は苦しい時代に突入し、我事も仕事が無くなり苦労しました。そこで国からの雇用助成金を受けなんとか乗り切りました。私は逆境の中でも求人活動を続けた結果、高卒の良き人材が沢山入社してくれました。今は腕の良い職人に育ち、顧客に愛され信頼があり会社は万全です。

また我が息子が後継社長となり今年創業50年を迎えております。次なる100周年を目指し、(株) 挾土組 経営指針を遵守し頑張ると言ってくれており、頼もしく、嬉しく、ありがたい事です。

私は日頃の行いが悪く天罰でこんな身体になりましたが、保護司を34年無事務め、昨年は天皇陛下より身体を案じたお言葉を直接賜り恐縮し、こんな男でも少しは“世の為人の為”に働き社会奉仕

が出来たのかな、と一人満足し運の良い幸せな人生だと感謝しながらクラブ例会皆勤しています。「おかげさまで一言」に尽きます。

最後に、別紙“(株) 挾土組 経営指針十ヶ条”と、“己の戒め伍訓、保護司会提出の「箍」を締め直す”記事をご一読いただき、ご教授願ください。

長時間、私の脳トレ卓話にお付き合いいただきありがとうございます。ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

本日は職業奉仕委員会の担当例会です。大村委員長宜しくお願ひします。そして大先輩の挾土さん、時間は十分にとっております。ロータリーの根幹でもあります職業奉仕の神髄を篤と知らしめて下さい。どうぞよろしくお願ひ致します。

●挾土貞吉さん

10月1日誕生日の早朝4時頃、チョコちゃん和女房にポーッと生きていないで考えて動き「天職を高め」リハビリ励め、と言うお叱りの夢を見、目を覚ました。今日、大村職業奉仕委員長より卓話をするように言われており胃が痛みます。「ロータリーと我が左官人生」と題しての幼稚な馬鹿話ですが聞いて下さい。

●大村 貴之さん

本日は職業奉仕委員会担当例会です。挾土貞吉さん、卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。

●小森 丈一さん

眠れるネズミが目を覚まし、一年振りに俳壇に採用になりましたので。

●田近 毅さん

「第58回飛騨発明くふう展」において、孫の樹希（小5）は『防災グッズスーパー10』を制作し県知事賞を頂きました。有希（小5）も県発明協会賞を頂きました。

●内田 幸洋さん

先週の身障者・児のゴルフコンペで100位賞に入り、豪華賞品をゲットしました。田中さん岡田さん田近さん、ありがとうございました。

●井辺 一章さん

家内の誕生日にお祝いありがとうございました。10/3昨日でした。

●古橋 直彦さん

本日の例会から「ネクタイ着用」ですね。全く忘れていたと言うか、半袖にしようか迷う位暑いです。公式訪問例会から着用します。本日早退します。

●伊藤 松寿さん、岡田 賛三さん、斎藤 章さん、田中 武さん、

田中 正躬さん、田中 晶洋さん、新井 典仁さん、杉山 和宏さん、櫻坂 純一さん、大前 克秀さん

今日は世界動物の日です。世界の動物たちが乱獲・気候変動を原因とする絶滅の危機から救うことを目的として、WWF ジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン 事務局：東京都港区）では、10月4日の世界動物の日（World Animal Day）より、世界中に点在する32種の動物たちが、自らの置かれた現状を動物たちが「自撮り」で、自らinstagramに写真を上げ、いま置かれている状況について声を挙げていく「#ANIMAL_SELFIE（アニマルセルフイー）」キャンペーンを実施しました。動物たちも、私たちと同じ地球号の乗組員であることを忘れないようにしましょう。

